

みんなで米作り

荒谷小 5年 黒田 和奏

荒谷小学校は米作りをしています。親や地域の方と一緒に、5月に田植えをして、10月には稲刈りをして、2週間ぐらい稲を干した後、だっこくをします。そのお米はもち米です。12月に、持久走大会をした後の午後、みんなでもちつきをします。うすときねをつかってつきます。ついたもちは温かいうちにまるめます。2チームに分かれて、つくのと丸めるのを交代でやります。できたおもちは、みんなでお話ししながら食べます。荒谷小学校は全校で9人しかいないけど、みんな家族みたいで毎日がすごく楽しいです。

山のさち

荒谷小 5年 山本 琉聖

諸塚にはわらび、だらの芽、ふきのとう、イノシシ、シカなど山のさちがいろいろあります。ぼくのお父さんは、山に行っただらの芽やコシアブラを採ってきてくれます。どの山菜もおいしいですが、特にだらの芽の天ぷらは最高です。それから、イノシシやシカが獲れたら仲間を呼んでさばいてくれます。そのお肉を使って料理を作ってくれます。仲間といっしょにおおぜいで食べるとおいしいです。特に、シカのサイコロステーキはおいしいです。ぼくもお父さんみたいにシカなどをさばけるようになりたいです。